

2013年度 I SO欧州エキスパート巡礼の旅 国外出張報告

荒井 正行

2013年11月21日～12月1日まで11日間にわたり欧州出張へ行ってきましたのでここに報告します。この報告は、仕事よりもこれからこの方面に海外出張、旅行へ行く方へのちょっとした情報を提供するものです。このため、気楽に読んでください。

昨年度に引き続き、本年度もI SO欧州エキスパート巡礼の旅へ行ってきました。本年度は、昨年度のプロポーザル「押し込み試験による溶射皮膜のクラシフィケーション法の規格化(AI基準に基づくコーティングの品質管理法の国際標準規格)」に対するエキスパートからのコメントへの説明、ならびに本年度プロポーザル「押し込み試験による溶射皮膜の界面破壊靱性評価手法の国際標準規格」に関して欧州での主要エキスパートに事前交渉することが大きな目的です。

2013年11月21日(木) 晴れ(気温17℃)



自宅の最寄り駅である小田急線 新百合ヶ丘 6:30 発の成田行き高速バスに乗車し一路、成田空港を目指しました。予定では 8:30 到着でした。しかし、途中、渋滞にはまりましたが、何とか 9:00 には成田空港第一旅客ターミナルに到着。ほっと一安心。この時間帯のバスを利用する際には渋滞を見込んで余裕をもって出発しましょう。



今回の欧州巡礼の旅はこの3名で参りました。左から、山崎氏（新潟工科大学 教授）、荒井（報告者本人、東京理科大学 教授）、鈴木氏（産業総合技術研究所 主任研究員）。これから、チェックイン、両替、出国審査の順番に処理していきます。



とりあえず、出国前に早朝生ビールでリラックス+これからの旅の下打ち合わせ(?)をしました。昨年の出張でのつらい話をむしかえしつつ、今回の抱負について語りました。



よろよろと32番ゲートへ移動。スイス航空にてチューリッヒへ。と、11:15発の予定でしたが、到着が遅れるとともに機内準備にも時間がかかるとのことで1時間待ち。各自、自由行動。



これから我々が搭乗する予定の飛行機の外観写真です。約13時間の旅が待ち受けています。



離陸後、とりあえずビールを一杯。



お隣のヒッピー鈴木氏は赤ワインを一杯。家庭の事情で酒立ちしている、といいながらぐいぐい飲んでいました。



これが本日のランチ。左は私が頼んだトンカツランチ。右はカネロニランチ。味はうまかったです。スイス航空は室内も清潔で本当によかったです。



最後にアイスも配られました。ランチのコンビネーションが最高！



途中でおかしやおにぎりも配られました。サービスもよい！



到着2時間前に配られた軽食。やきそばとサラダ。定刻通り、現地時間の夜17:20にチューリッヒに到着しました。すでにへろへろです。ところで、スイスって何語をしゃべるんだ？とのとんちんかんな質問。前日まで忙しくて、滞在際の旅情報をほとんど収集せずここまで来てしまいました。答えは、人口の6割がドイツ語（スイス訛り）、3割がフランス語だそうです。前座席に置いてあった航空会社発行の雑誌に書いてありました。



と、外は雪。機内でのアナウンスによると外気温は1℃。こりあ、ひどい。



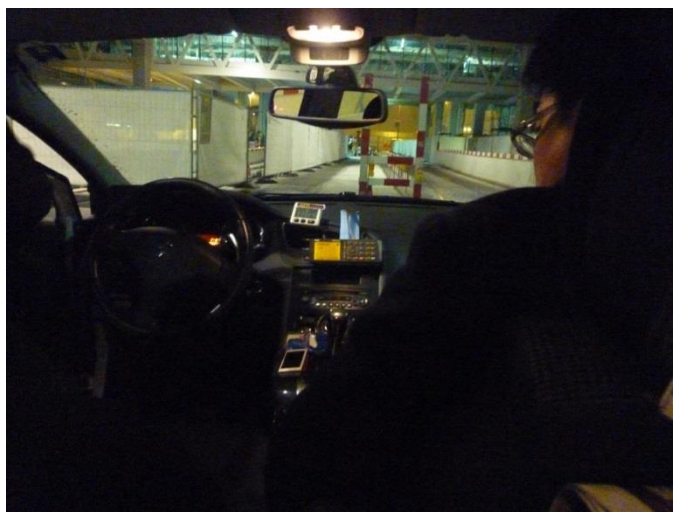
ゲートに到着したら、空港内の電車で移動。チューリッヒ国際空港は、非常に小さい空港です。この電車の移動中、動物の鳴き声（とくに牛、やぎ）が流れていました。結構、やかましい。そして、パスポートコントロールへ移動。



荷物受取場。やっと私の荷物がやってきました。これを受け取れば、空港の外へ。。。。



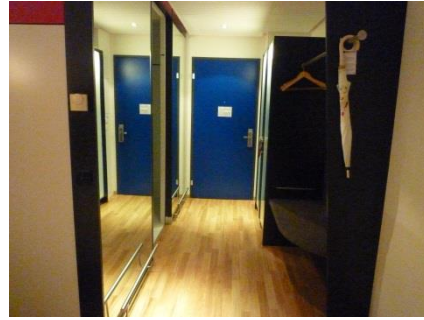
と、荷物を受け取った後、移動途中に免税店を発見。これは珍しい。チューリッヒは、パスポートコントロール、荷物受取後にも免税店があるんですね。ちょっと不思議な感じです。



その後、ホテルへタクシーで移動。外は吹雪でした。タクシーの運転手がぶつぶつ独り言。しかも英語で。「アレグラホテルって空港から近いんだよな～。空港からシャトル出ってたよ。何でそれ乗らないの。」料金支払い後もこの調子。こちらは、「チューリッヒ初めてなんだから仕方がないだろう！」と日本語で返答（わざと）。



空港最寄のホテルと言いながら、タクシーで約15分移動したところに今回の宿泊するホテルがありました。あっ、タクシーの運転手に遠回りされたかな？ホテルの名前は、「ホテル アレグラ」。このアレグラって、日本ではお薬の名前ですよ。アレルギー鼻炎に効きそうなホテルですね。



これがホテルの内装です。ベリーグット。内装が非常におしゃれでした。また、インターネット無料接続使いたい放題。朝食あり。なかなかよい物件です。

2013年11月22日（金）雪（気温1℃）



5:00に起床。といつつ、途中何度か目覚めました。8:00に朝食をとりにホテルのラウンジへ。この写真がホテルで準備していた朝食です。ちょっと種類が少ないかな？本日は、午後からNOVA社へ伺うために午前中は部屋で仕事してました。



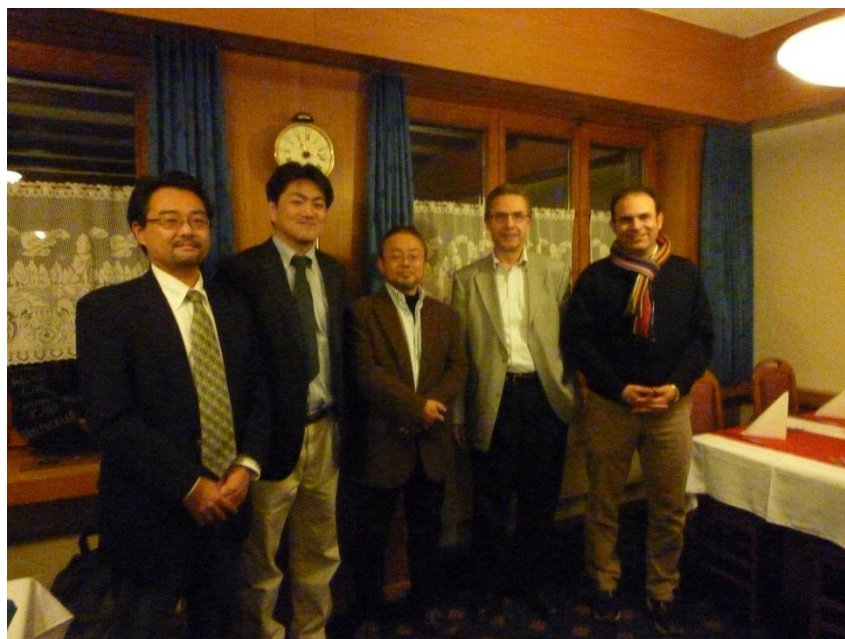
昼食をとるため、外出。ホテルがクロテン（KLOTEN）駅の横にあったため、とりあえず駅へ移動しました。写真は駅のプラットホームから撮影したものです。しんと降る雪。寒かった。駅の周りを色々と物色しましたがレストランらしきものはほとんど見当たらず。



駅前に唯一あった中華料理屋(店名:北京酒店)。中に入ると従業員はほとんど中国人ではなく、中東系の方々。かなり怪しいものの、PEG1(写真右)とPEG2(写真左)を一人ずつ注文しました。左は春巻きと中華やきそば、右はライスと酢豚の定食みたいなもの。これに飲み物がついて一人11スイスフラン。高いですね。



13:30にホテルの前で待ち合わせ。颯爽とベンツでノバ社の Dr. Siegmann 氏が我々ご一行を迎えに来てくれました。約15分間でノバ社に到着。なお、会社の外観写真、内部の撮影などできないため、以降は写真がありませんが、唯一、ノバ社の入口を撮影してきました。会議は14:00からはじまり、17:30まで休憩なしで打ち合わせしました。かなり疲れしました。その後、ノバ社の工場ならびに実験室を見学させていただきました。会議では非常に多くの質問をいただき、また本当に活発なディスカッションが交わされました。内容についてはここでは説明できません。あしからず。その後、夕食会のために近くのレストランへ移動。



レストランで一同記念写真を撮りました。左から、荒井、山崎、鈴木、Dr. Stephan Siegmann(NOVA社)、Dr. Mousab Hadad(NOVA社)。



とりあえず、ビールとワインで乾杯。



アルコールをとりながら歓談。スイスの国内状況、大学での教育の現状にはじまり地球温暖化と幅広く話題が展開。シーグマンさんが幅広い情報をお持ちでびっくり。工業の話、はては農業まで話題が繰り広げられました。とくに日本の政治と経済、東日本大震災後の我が国の現状を知りたかったらしく、こちらから色々と説明しました。福島についてはずいぶん心を痛められておりました。それを契機にスイス、ドイツのエネルギー事情、我が国の事情など話題が大広がり。1時間以上経過してようやくメインディッシュが運び込まれました。



さらにお酒にひたひたになったシャーベットが登場。かなりアルコール度数が高いお酒にシャーベット（マンゴー味）がちょこっとフロート。最初だけマンゴーシャーベットを味わうことができたが、途中から単なる酒に変身。これでかなり酔っぱらいました。



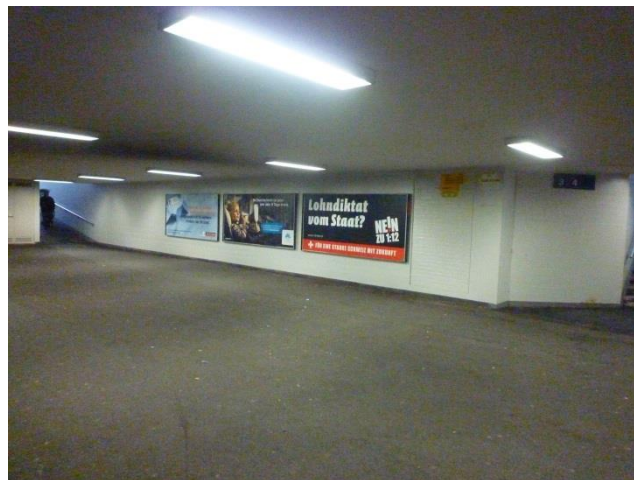
山崎先生はパフェを注文。なんともビッグなサイズにびっくり。ひたすら食べて完食しました。その後、ノックダウン。

結局、11:00まで飲んで食べました。ノバ社の方々が紳士的かつ冗談もわかり、楽しい夕食会となりました。ホテルへ11:15ごろに到着。反省会と称して、さらにホテルのラウンジでビールのジョッキを1杯飲んで就寝しました。ご苦労様でした。

2013年11月23日(土)



昨日のアルコールによってゆっくりと眠れました。本日、6:00起床。昨夜はへべれけになっていたため風呂に入りませんでした。よって、朝にシャワーを浴び、それから7:30ごろまでメールチェックなどの事務仕事をこなしました。朝食は8:00。写真が朝食です。内容は昨日の朝とまったく同じです。



9:00にホテルをチェックアウト。大きなバッグを引きずりながら駅まで移動しました。道路は雪が残っており、靴がびしょびしょに。写真は駅の地下通路を示しています。



クロテン (KLOTEN) 駅の構内で9:20発の電車を待ちます。写真左は駅のホームから撮った町の風景+我々が宿泊したホテルの外観です。写真右は、ちょうど電車が駅に近づいてくるところ。その後、電車にゆられて15分程度でチューリッヒ中央駅に到着。



写真はチューリッヒ中央駅の様子。まずホームに降りて、エレベータで2階の広場まで上がります。そこには巨大な待合所+お店などがあり、多くの人が忙しげに行きかかっていました。ホーム数は約100か所(正確な数はわかりません)あるようで、ちょっとした空港並みの大きさには驚きました。



上の写真も駅のホームの様子です。10:32発ジュネーブ行の電車を待ちます。



定刻に電車はホームに滑り込んできました。ホームには、車両に関する情報が日本のようには示されていません。車両の側面にあるデジタルパネルを直接見ながら、搭乗すべき車両を見つけます。電車に乗って席を探している間もなく、電車は何の合図もなく発車しました。



2等車両。ちょっと狭い。



駅でパン、おかし、飲み物を買ってずっとお話しをしていました。



約3時間かけてようやくジュネーブに13:15到着。ここの構内もまた広い。ヨーロッパは鉄道大国ですね。



大きなカバンを引きずりながらホテルへ移動します。雪はありませんでしたが、風が強く、ここもまた非常に寒い！



15分程度かけてホテルに到着。ホテル名は、Drake Longchanmp Hotel。



ホテルの部屋の様子。古い建物のようにですが清潔感がありました。なんと台所がついていました。



その後、ホテルを出て昼食をとりに出ていきました。すでに14:00。



ピザを注文。サイズは写真のように結構大きい。一枚14スイスフラン。これにワインを飲んで大満足。しかし、とにかく注文を取りに来るのが遅い！ピザが出来上がるまでが遅い！何から何まで遅く、昼食をとり終わったのがすでに15:30。夕食が食べられないということでそのままホテルに戻りました。その後、部屋で白ワインを飲みながら仕事をしていました。

2013年11月24日（日）曇り（気温8℃）



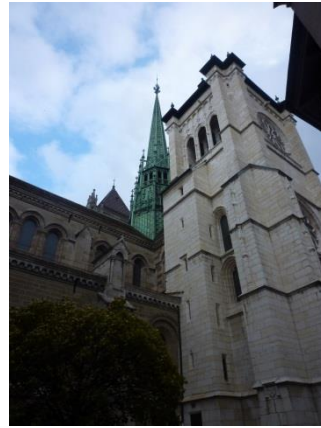
朝食を8:00にとりました。写真は朝食です。チューリッヒでの朝食に比べて、卵が追加され、ちょっと贅沢になりました。また、生ハムもおいしかったです。



本日は日曜日であり、1日休みができましたのでちょっと観光に行きました。9:30にホテルを出発。



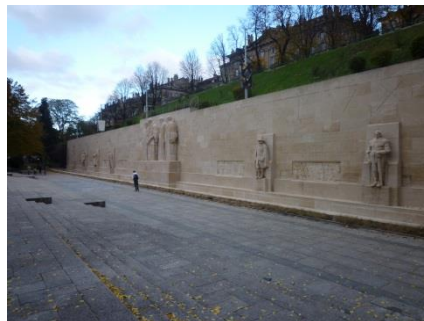
ホテルから歩くとすぐにローヌ川という非常に大きな川に出ます。ここを渡った向こう岸に観光名所があるようです。



階段道をとことこと歩いていくと、まずはじめにサンピエール大聖堂に到着。



そのうらに国際宗教改革博物館があり、そこを見学。ただし15スイスフランもとられた。宗教とは無縁の生活を送っている日本人には、宗教の歴史をあまり理解していないため、博物館での展示物を十分には理解できませんでした。もしもここを立ち寄る方、ちょっと考えた方がいいかも。



バスチョン公園に向かい、同園内にあった宗教改革記念碑を見学。



公園を散策していると、人工アイススケートを発見。結構、子供や大人で賑わっていました。また、さらに歩くと大きなチェスもあり、真剣な面持ちでコマの進め方を考えている様子。



昼食はマクドナルドへ。さすがはマクドナルド。どこにでもあります。写真はヒッピー鈴木さんが頼んだミール。私はあまりお腹が空いていなかったのでチーズバーガーのセットミール。値段がなんと8.90スイスフラン。日本円にして約1000円。たかがチーズバーガーでこの値段！とにかくスイスは物価が高いです。と、食後にトイレに行っておこうと思い。。



なっ、なんとキーロックされているではないか！近くに座っていた若者が、「おまえのレシートに書かれているこの番号を入力しろ」と教えてくれ、あわてて捨てそうになったレシートを取り出すと、確かにレシートの下の方に4ケタの番号が書かれているではないか。そう。この番号を入力するとトイレの鍵が解除されて、トイレに入ることができるのです。スイスへ旅行される方、安易にレシートを捨てないように！



高価なマクドナルドミールでお腹も一杯になり、再び現場に戻りました。その後、美術・歴史博物館、自然史博物館へ。ここは両方ともタダ。しかし、侮ることなかれ。両博物館ともに内容が豊富！自然史博物館では、とくに陳列されていた鉱物の種類とその説明の専門性にはびっくり。私も本当に勉強になりました。はじめてウラン鉱物を拝見しました。また、日本の四国から産出された鉱物も陳列されていましたよ。どうやら、そこから銅を抽出するそうです。ただし、説明は全てフランス語でしたが、模型、模式図が満載でしたから、なんの問題もなく理解できました。ここはおすすめの場所です。すっかり4:30になっていたのので、これで観光は終了し、一路ホテルへ戻りました。なお、明日のISO本部のホテルからの距離を確かめるべく、道のりを確認してからホテルに戻りました。



6:00にホテルから歩いて5分程度のところにあったレストランで夕食をとりました。日曜日なのでほとんど店は閉まっていたましたが、ここは唯一やっていたお店でした。赤ワインを一本。その後、サラダ（ここに来てから野菜類をほとんど食べていなかった）、パスタ、そしてチーズフォンデュをオーダーしました。どれもこれもおいしかったです、とくにチーズフォンデュは本場だけあっておいしかった。ひとり45スイスフラン。8:00までゆっくりと話しながらの夕食。楽しかったです。

2013年11月25日（月）ジュネーブ（曇り）、リヨン（晴れ）いずれも強風＋寒い



ホテルに荷物をおき、朝からISO本部へ徒歩で。午前中はISO職員、Stephane Sauvage氏と打ち合わせ。ISOでの書類プロセスのお話、現在提案している規格の現在の審査状況、問題点に関して打ち合わせしました。また、次回提案予定の規格についても宣伝をしてきました。



会議終了後、記念写真。左から鈴木氏、ステファン氏、山崎氏、そして荒井。



会議終了後、ホテルに戻り荷物をまとめてチェックアウト。ふたたびごろごろと引きながらコルナバン駅に向かいました。電車乗車まで時間がありましたので、駅のパン屋さんでフランスパンのサンドイッチを購入し、スターバックスでコーヒータイム。

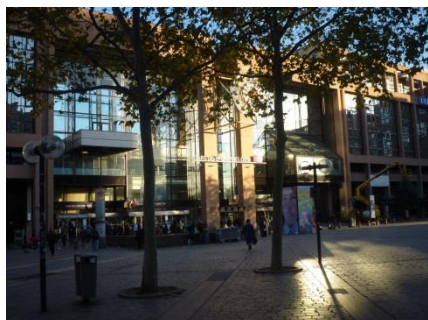


駅から少し外れたホーム（8番線）へ移動。ホーム入口で入国審査室がありましたが、係員はいませんでした。そのままスルー。

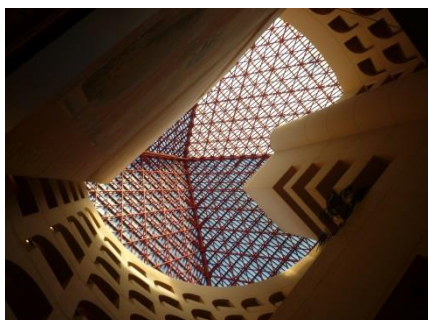


コルナバン駅発12:42のTGV9756に乗車。とりあえず、ほっと一息。電車のなかで先

ほど購入したフランスパンを食べました（昼食）。周知のようにジュネーブはフランスとスイスの国境近くにある街ですので、発車後すぐにフランスへ入国。



14:26にリオン、パールデュ駅に到着。スイスのジュネーブでは道は石畳、石で出来た古めかしい建物で町が埋め尽くされていましたが、ここリオンは最近建物が建てられたのか、非常に近代的な町でした。



ホテルは、駅から見える円筒形状の建物。Radisson Blue Hotel Lyon。久しぶりの高級（？）ホテル。部屋は35階の最上階。部屋の窓から見える景色は町を一望できました。



ホテルと駅を結ぶ中間地点にショッピングモールがありました。まずはお散歩へ。スイスではなかったショッピングモール。久しぶりになんだかうきうきしました。



とりあえず、駅構内まで移動し、イングランドパブでビールを堪能しました。お疲れ様でした。結局、ひとり1リットルを飲み干しました。



あまりお腹が空いていなかったのですが、夕食はカルフルで食材を購入し、ホテルの部屋でとることに。。。私は、日本酒（久しぶり～）、サラダボール、サンドウィッチ、そして大きなチーズを購入。しめて9ユーロ。スイスでの物価に比べてはるかに安かった！



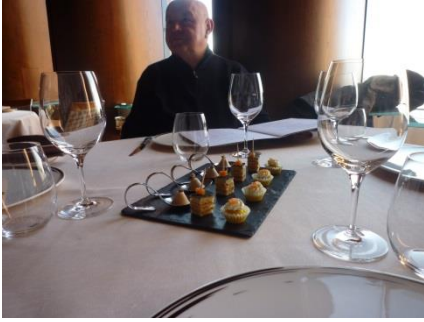
部屋の窓からの夜景です。この日は、10:00に就寝しました。

2013年11月26日（火）晴れ

本日は、滞在しているホテルのロビーを利用して、フランス側のエキスパートであるクラウドトーマス氏と来年度提案予定の規格について話し合いました。同氏は産業界での経験が豊富で、すでにリタイアしている身であるにも関わらず、コンサルタントとして溶射に関する製造プロセスを含む技術的指導ならびに大学での指導など活発に今なお活躍されているとのこと。こちらから提案予定の内容については、その重要性を理解していただき、さらに重要なコメントなど頂きました。今後、積極的に日本側提案をバックアップしてくれる旨の確約をいただきました。



ディスカッション後に記念撮影。左から鈴木氏、山崎氏、クラウドトーマス氏、そして荒井。



12:00からクラウドトーマス氏を招いて昼食会を開きました。写真はこちらから準備したフルコースです。これに白と赤をワイン、最後にエスプレッソコーヒーを付けました。



朝から始めて、14:30ごろにようやく仕事が終わわり、市街地を散策しつつ、夕方ごろ途中で一杯。フランスのリカーを頂きました。これは美味しかった！



本日は、昼食をしっかり食べましたので胃が重くなり、夕食は近くのアジアンレストランで丼ものを頂きました。ただし、ライスは長軸もので、硬かったですが、久しぶりのライスに舌鼓を打ちました。

2013年11月27日（水）晴れ（外気温最高3℃）

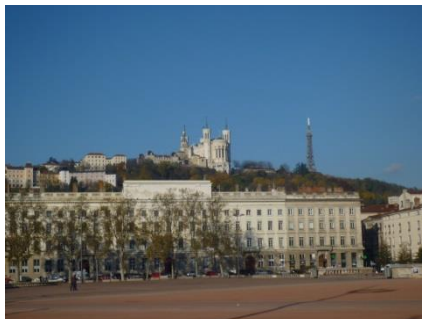


5:00起床。朝、シャワーを浴びて、メールチェックなど事務仕事を少ししました。そして、8:00に朝食。このホテルの朝食は立派です！

本日は、一日フリーでしたので、リヨン旧市街など町を散策することとしました。以下、町の風景を紹介します。



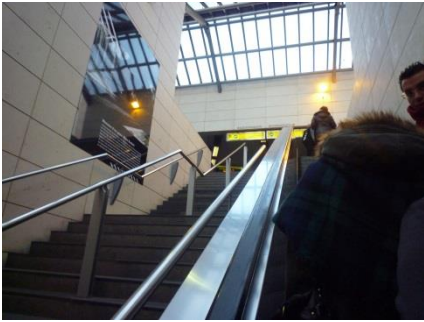
ホテルを出て、ローヌ川とソーヌ川の中州（2区）まで行くと、Place Bellecour に到着。ここから、文化遺産であるフルビエールの丘を目指します。



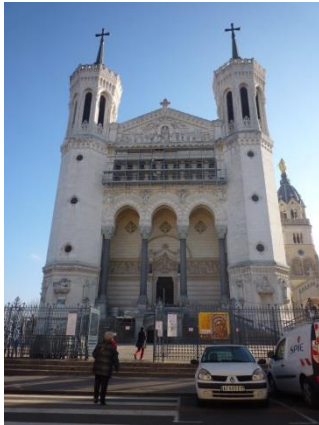
写真は、同広場からフルビエールの丘を眺めたところです。



まず、ソーヌ川を超えるとすぐにサンジャン大聖堂があります。ここは、1165年に建てられた最も古い教会だそうです。



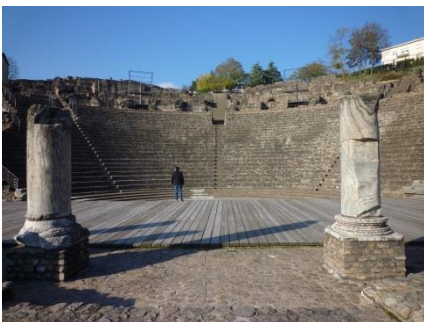
電車に乗って一駅。フルビエール駅に到着。



こちらがフルビエール大聖堂。ステンドグラス、調度品ともに素晴らしかった。



フルビエールの丘から町を一望。



そこからさらに歩いていくと、古代ローマ劇場があります。これに隣接してローマ博物館もあり見学をしてきました。最近、発掘が進められているらしく、未だ整理されていない、石柱など多くの遺品が転がっていました。



徒歩で再び中州まで戻り、1区にあるクロアルース地区の市庁舎（Hotel de Ville）へ。市庁舎とテロー広場。ここで、待ち合わせして昼食へ。と、すでに13:00。



まずはリカーを一杯。腹にじんじんとしみわたります。



これが本日のランチ。豪華でしたし、味も抜群でした。15:00までゆっくりと昼食を赤ワインとともに頂きました。お腹が一杯。よって、本日の夕食はキャンセルとしました。そのままホテルに戻り、仕事をしていました。

2013年11月28日（木）晴れ

本日、6:30起床。ちょっとした事務仕事をしてから風呂に入りました。そして、8:00に朝食をとりました。午後からポルトガルのリスボンに移動のため、午前中の間に昨日まわることができなかったレジスタンス運動とユダヤ人強制移送の歴史センターに立ち寄りしました。



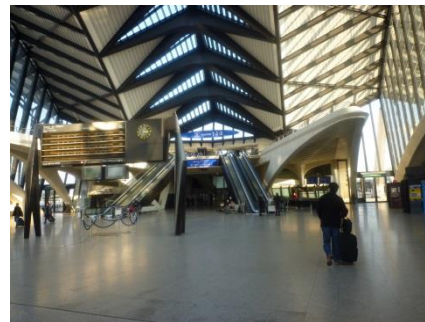
第二次世界大戦におけるナチによる破壊、ユダヤの強制移送、そしてリヨンに住むフランス人のすさんだ生活に関する豊富な資料が展示されていました。ただし、展示品に対するすべての説明はフランス語でした。このため、エントランスで英語版の解説書を借りましょう。4ユーロ。



13:00ごろに駅まで戻り、昼食。今日はフレンチハンバーガー。



バッグを取りにホテルに戻り、その後、リヨン駅のそばを走る空港行の電車に乗車。約30分でリヨン空港へ。



リヨン空港駅。そして空港へのコンコース。新しい空港のように見えます。



空港に到着してほっと一息。まずはビールを一杯。



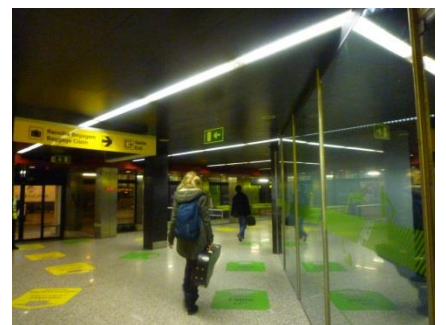
16Aゲートにて飛行機搭乗を待ちます。ゲート内は非常に狭かった。この日は1時間遅れ。



ようやく飛行機が到着。飛行機へ搭乗します。飛行機は小型ジェットでフォッカー100。インターネットで調べると、オランダの航空機メーカーとのこと。



軽い軽食が出ました。ただし、飛行機は古く、ギシギシと音を鳴らしながら飛んでいました。



定刻より1時間遅れでリスボンに到着。飛行機からタラップを降りて、地上で待っている大型バスに乗りました。その後、空港まで移動。内部をぐるぐると歩き回り、バッグの受取へ。時刻はすでに20:00。



夜も遅く、タクシーにて移動することに。。。ホテル Eduardo VII へ。



タクシーで走ること20分程度でホテルに到着。町の中心地にホテルがあるようです。ところでタクシー代は13ユーロと非常に安い。



ホテルの隣にあった大衆レストランで夕食。



マッシュルームオムレツ定食。マッシュルームが混ざったオムレツに、ポテトとレタスが付いていました。見た目は無造作な感じですが、味は美味しかったです。



そして、ホテルに戻り、就寝。

2013年11月29日（金）



本日、5：00起床。メールチェックなどの簡単な事務仕事の後、お風呂に入りました。8：00に10階にあるレストランで朝食。写真は、朝食です。スクランブルエッグ、ウインナー、ハム、チーズ、パンにコーヒーです。コーヒーは、温かい麦茶のようであまりうまくなかった。



9：30にタクシーで、先方より指定された場所である、Bureau Veritas というところへ向かいました。ここは、ポルトガルの検査協会みたいなところのようです。その標準化部門のマリオ アレクシオ氏、ならびにコインブラ大学教授 ロボ氏と会い、会議を開きました。



写真は会議室の風景とこれから会議をはじめようとやや緊張気味の日本側。



現在提出している規格書に対するコメントを受けるとともに、来年度提案予定の規格の内容に関して説明してきました。ロボ先生からは、素晴らしい内容なので是非とも協力したい、との強い励ましの言葉を頂きました。写真は会議終了後の記念撮影。左から、荒井、山崎氏、ロボ氏、鈴木氏。



本日のランチ。ポルトガル リスボンでは写真のようにお魚料理が中心。これに野菜とデザート頂きました。非常においしかったです。同じヨーロッパでも、場所が違うとこんなにも味付け、食材が異なるのか、とビックリしました。ゆっくりと2時間かけてお話しをしながら食事をいただきました。



ランチが終わり、タクシーでホテルへ戻りました。すでに夕方の時刻。2時間程度街中を散歩しました。ホテルから30分くらい歩くと、港に着きました。そこで記念撮影。本日は、しっかりランチを取りましたので、夕食はキャンセルしました。

2013年11月30日(土)



本日、4:00に起床。ホテルで朝食をとらず、5:00にホテルからリスボン空港に向けて出発。約20分程度で空港に到着。昼間は渋滞が激しかった道路ですが、朝が早いため自動車がほとんど走っていませんでした。



空港に到着してほっと一息。ひとりでカプチーノを頂きました。2.50ユーロ。



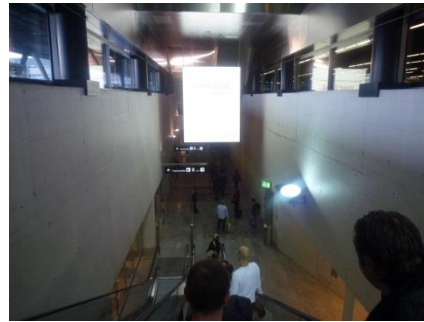
19番ゲートからリスボン発(7:05)→チューリッヒ行(10:50)を待ちます。飛行機が小さいためか、ゲートから飛行機までバスで移動。



時刻は、朝7:00。さすがのリスボンも朝は寒い！



機内で準備されていた朝食。チーズとハムを挟んだパン、それにパサパサのパン。これにコーヒーがつけました。



ほぼ定刻通り11:00にチューリッヒに到着しました。外は大雪。外気温は1℃。13:00発成田行きの飛行機に乗り換えます。



離陸後、飲み物が配られました。私は、久しぶりに日本のビールとウイスキーをお願いしました。



その後、すぐに食事が配られました。私はパスタを頼みました。味は美味しかったです。そして、アイスも配られました。



成田空港到着2時間前に朝食が配られました。そして、ほぼ予定通り9:00に成田空港第一ターミナルに到着。約11時間30分の長旅でした。すでに2013年12月1日(日)の朝になっていました。空港発9:55の高速バスにて新百合ヶ丘駅に向かい、途中渋滞もありましたが12:00には同駅に到着。自宅に12:30に無事帰宅することができました。



今回の出張の場所と移動行程の概要

以上。